

平成 30 年 9 月 28 日

北海道胆振東部地震について

※ 北海道胆振東部地震 発生

2018 年 9 月 6 日(木) 早朝 3 時 8 分頃、北海道の胆振地方中東部を震源とする M6.7 の地震が発生。震源に近い厚真町で震度 7 を観測しました。震度 7 の揺れが確認されたのは熊本地震以来で、気象庁の統計では 6 度目となります。また、安平町やむかわ町で震度 6 強、新千歳空港や札幌市東区でも震度 6 弱の強い揺れに見舞われ、非常に大きな被害に見舞われました。

■はメールでの情報です。

■9 月 7 日 11:08

件名: 災害対策本部設置について

日本眼科学会理事長

大鹿哲郎先生 御侍史

昨日発生しました北海道胆振東部地震の被害は報道によると広域にわたり甚大な様相です。本日、日本眼科災害対策本部を立ち上げ、眼科関連団体に情報収集を開始いたしましたのでご連絡申し上げます。道内のインフラがうまく機能していないことより情報収集が難しい状況があるようですが、当方の情報についても入り次第随時連絡させていただきます。よろしくお願ひ申し上げます。

(会長 白根 雅子)

■9 月 7 日 12:06

本会から北海道眼科医会へお見舞い状をメールで送付いたしました。

.....

平成 30 年 9 月 7 日

北海道眼科医会 会長

田川 博 先生 御侍史

日本眼科医会 会長 白根雅子

事務局長 高須賀重信

【お見舞】北海道胆振東部地震について

昨日の北海道胆振東部地震では、広域にわたり甚大な被害が出ている様子が報道されており、皆様の生活、診療に支障が出ておられることと存じます。衷心より見舞い申しあげます。

会員、ご家族、スタッフの皆様がご無事であることを願うとともに、1日も早く復旧が進むことを願っております。もし、日眼医でご協力できることがあれば、お申し出ください。

お疲れが出ませんよう、お祈りしております。

**【連絡先】**

公益社団法人日本眼科医会 事務局長

〒105-0014

東京都港区芝 2-2-14-7F TEL03-5765-7755 FAX03-5765-7676

mail: [takasuka@gankaikai.or.jp](mailto:takasuka@gankaikai.or.jp)

.....

**■9月7日 12:37**

関係団体へ情報提供の依頼をメールで送付いたしました。

.....

関係各位

お世話になっております。

昨日発生しました北海道胆振東部地震の被害は報道によると広域にわたり甚大な様相です。日本眼科災害対策本部を立ち上げ、眼科関連団体に情報収集を開始したいと思います。すぐには、判明しないと思いますが、以下、ご協力ください。

1. 北海道の被害情報を、お知らせください。
2. 今後の対応について、決まっていることがあれば、教えてください。

よろしくお願ひ申し上げます。

白根 雅子 拝

公社) 日本眼科医会 会長

.....

**■9月7日 12:23**

ご心配をおかけしております。職場、自宅は電力が回復しました。ただし、携帯は時々つな

がらなくなり困っています。札幌は人的被害は無いようですが、施設被害はあるようです。北海道眼科医会会員全員の安否はまだ確認されておられません。

(北海道眼科医会会長 田川 博)

#### ■9月7日 2:17 PM

日本眼科学会から、被害状況について連絡いただきました。

・札幌市 北海道大学 石田 晋先生

北大病院は予備電池でなんとか診療継続の体制をとっている、しかし、全ての診療科で手術中止、明日以降は未決定。眼科に関しては、外来も中止。医局員の安否で重大な情報は入ってきません。停電のため携帯の電源が切れた人は不通となります。交通網（空港、電車、高速道路、信号つかない）の麻痺、停電、一部の地域で断水、というライフラインが損壊された状況が、いつ打開できるかという見込みが不明瞭なのが不安材料です。外来診療は急変した方のみ、手術は火曜日分まで中止の予定です。

・札幌市 札幌医科大学 大黒 浩先生

おかげさまで大学はほとんど被害はありませんでしたが、電気も水道も止まっているので交通機関もすべてストップし、コンビニもすでに行列ができていたがほとんど食糧先に買い占められていたようです。そのようなわけで大学病院もシステムダウンしていたため救急以外休診でした。昨日午後から札幌も一部電気が復旧したため本日より診療できることとなりました。ご心配していただきありがとうございます。しかし地方ではまだまだライフラインも交通網も大変なこととなっているようで元どおりになるまでかなり時間がかかると思われます。

・旭川市 旭川医科大学 吉田晃敏先生

大学の自家発電で午前10時まで病棟を稼働させ、それ以降は電力供給があったため、通常通りに手術を開始しました。外来は機器が動かなかつたため、予約をずらす対応をしました。本日から通常通りに外来・手術業務が開始となっております。

#### ■9月8日 4:27 AM

5日の夜は当直でして、夜中の3時にももの凄い揺れで、たたき起こされ、院内の自家発電装置に軽油を足したりの作業と、院内チェックに追われました。幸い、大きな損害は無く、4階の窓から真っ暗な札幌の街を見ていました。我が家は、7日夜7時半になって電気がつきました。2000年問題のときに買っておいたカセットコンロと手動充電のラジオが大活躍でした。ろうそくも悪くありませんが（負け惜しみ）、電気は明るいですね。PCメールもやっと使えるようになりました。固定電話もFAXも電気が無いと動かず、携帯の電話も

ネットも不安定でほとんど役に立たず、陸の孤島状態でした。道内の医療機関状況の把握をしていますが、なかなか進みません。地震の直接被害はそれほどでもなく、停電による不都合が大きいようです。まだ、余震の可能性も残っています。

(常任理事 松下卓郎)

■9月8日 11:24

御連絡ありがとうございます。震源地近隣の眼科クリニックとは今朝までに連絡が取れ、人的、建物、機器類の被害は無かったようで、停電の解消により昨日または本日から診療を再開されています。

震源地近くには眼科施設がなかったためと思われそうですが、今後は避難されている眼科患者さん達への対応が問題となりそうです。情報が入り次第、御連絡します。

(北海道眼科医会会長 田川 博)

◇は記事の意味です。

◇メディアファックスの記事

Saturday, September 8, 2018 11:04 AM

「先遣 JMAT」を派遣、被災地の状況を把握 北海道地震で日医 2018年9月7日  
北海道胆振東部地震を受け、日本医師会は7日、被災地の北海道苫小牧市に「先遣 JMAT」を派遣した。

先遣 JMAT は、災害発生直後に被災地へ出動し、現地で必要とされる支援・機能、JMAT (日医災害医療チーム) を派遣する必要性などの情報を収集・把握する役割を担う。今回、北海道医師会の長瀬清会長、目黒順一常任理事、事務局幹部の合計3人が同日、先遣 JMAT として苫小牧市に入り、苫小牧市医師会内に設置された避難所、現地の DMAT 本部などで状況を確認した。現地では、多数の傷病者が出ているわけではない模様で、DMAT が避難所の情報収集を進めているところだったという。

ただ、停電の長期化により、自宅で生活できない被災者の避難所生活が長引く可能性もあるため、要請があれば道内から JMAT を派遣できるよう、準備を開始したという。道外からの JMAT の派遣要請については、状況を見極めながら検討する。

北海道医では、引き続き職員が道庁に詰め、災害救急を中心に対応を協議するなど、懸命な活動を続けている。道医事務局によると、道医師会館は、停電によりテレビやパソコンなどを使用できなかったが、7日朝に復旧。ほぼ通常通り業務を行うことができる状態に戻ったという。道内では停電の続く世帯も数多く残っているが、郡市区医師会や会員の状況について確認を進めている。

■9月8日 16:13,

北眼医笹本副会長から連絡がありました。

現在、厚真町に 1000 人規模の避難所があるようで、北海道医師会を通じて、眼科医療のニーズがあるかどうか調べて貰うことになっています。それに応じて、北眼医の方で対応を検討します。あの地域は、眼科医療機関がありませんので、もともと、苫小牧などに通院している方々のはずです。

(常任理事 松下卓郎)

■9月9日 1:55 AM

8 日夜の段階です。

北海道医師会の担当者より下記の連絡がありました。

=====

ご依頼のありました震源地周辺の眼科の医療ニーズの件、さきほど、DMAT調整本部の打合せに参加し、状況を確認してきましたが、J-SPEED（災害時診療概況報告システム）の集計がまとまっていないので、現時点では把握できていないとのことでした。

その集計結果の状況が分かり次第、改めてご報告申し上げますので、よろしくお願いいたします。

(常任理事 松下卓郎)

■9月10日 1:54 PM

北海道眼科医会田川会長からのご報告です。

北海道医師会に、今のところ眼科医療支援（ビジョンバンを含む）は行わず、現地医療機関に任せる旨を、伝えました。

>苫小牧保健所、石井保健所長からの情報です。

>=====

>苫小牧保健所の石井です。

>東胆振地域の眼科医療機関の状況を共有します。

>添付ファイルの通り、苫小牧市内に 7 か所あり、本日は全て平常診療です。

>厚真バスも昨日から運行再開していますので、現時点では医療機関に通常受診していただくのが、原則かと思います。

>=====

(常任理事 松下卓郎)

■9月11日 10:42 AM

一般社団法人 日本コンタクトレンズ協会

報告日：2018年9月10日（月）12:00 時点の情報

1) 野幌眼科（北海道江別市）水漏れがあったようだが問題なし。本日より診療開始。

2) ささもと眼科/眼科医会副会長（北海道札幌市）水漏れがあったようだが問題なし。本日より診療開始。

3) コンタクトレンズ販売店も、停電等のライフラインの停止及び交通機関の遮断により当初は全店休業しておりましたが、9月10日以降は大部分が営業しているようです。

■9月13日 10:41 AM

一般社団法人 日本眼科用剤協会

この度の北海道胆振東部地震に関して、会員会社各社に被害状況等について確認いたしましたが人的・物的被害の報告は特段ございませんでした。

また、一部の会員会社では、先週・今週にかけて拠点（札幌・函館・旭川）への物資支援を行っているとの報告を受けております。（保存水、カップ麺、マジックライス、単三電池など）

■9月13日 10:41 AM

一般社団法人日本眼科医療機器協会

1. 被害状況

○新千歳空港近郊の眼鏡店にてニデック社の機器1台が落下、2台が転倒、落下した1台については修理対応が必要。

○札幌市東区の誠心眼科病院では3Fの手術室の器械戸棚が倒れたが、被害は軽微。同じく東区の札幌かとう眼科は、医院前の2車線の道路が陥没し通行止めになっているとのこと。裏の道は大丈夫なので、診察は出来ているとのこと。

2. 今後の対応

○顧客の状況を速やかに把握し、対応が必要であれば順次対応していく。

○CL協会からの支援要請があれば、対応をさせていただきます。

（CL協会加盟会員）

■9月13日 9:22 AM

公益社団法人 日本視能訓練士協会

このたびの北海道胆振東部地震に関して、会員、北海道視能訓練士会への安否・状況確認を行いました。特に被害の報告はございませんでした。

◇2018年9月14日 14:11

（メディアファクスより）

JMAT5 隊、日赤 12 隊に加え国立病院機構 1 隊が活動中 北海道地震・14日7時時点

厚生労働省が発表した14日午前7時時点の北海道胆振東部地震の被害状況（第18報）によると、救護班の状況は、JMAT5 隊、日本赤十字社の救護班 12 隊に加えて、国立病院

機構の救護班が1隊活動している。DMAT ロジスティックチームは、前日の10人から9人に活動規模を縮小した。DPATは14日、1隊が活動予定となっている。

厚生労働省が在宅呼吸療法に関する機器を製造販売する会社12社に対し、患者の安否状況の確認とバッテリーなどの緊急搬送について依頼を行っていた件については「全員の安全確認または移送済み」とした。

また、在宅酸素療法に関する機器の保守点検を行う会社19社には、電話で患者の安否状況などを確認中。13日時点で、計6973人の安全を確認し、残り47人の安否を継続して確認している。

また、物流の回復により12日の段階で、情報収集を実施していた全医療機関で患者用給食の供給ができなくなる恐れはなくなった。

◇2018年9月20日 11:56

(メディアファクスより)

医療救護班5チーム、保健師派遣は11チームに 北海道地震・20日8時時点

厚生労働省が公表した20日午前8時時点の北海道胆振東部地震被害状況(第21報)によると、救護班の活動状況はJMATが3チーム、日本赤十字社が2チーム活動している。いずれも前日から減少した。こころのケアチームも活動を続けており、20日も胆振管内の避難所で活動する予定。保健師の応援派遣は20日から3チームが加わり、11チーム体制となる。

■9月21日 0:36

田川 博会長に状況を伺い、道内の眼科医療供給は問題なくなされており、日眼医からの支援は必要がない状況であることを確認したので、本会災害対策本部の業務を一旦終息とした

(会長 白根 雅子)

以上